

故郷



「最高の演奏をしたい」と意気込む伊沢さん

「非常にありがたい機会。恩返しとまではいえないが、最高の演奏をしたい」と話している。

LED水耕栽培に注目

発光ダイオード(LED)を使った水耕栽培が、障害者の仕事として注目されている。足腰に負担をかけないように作業でき、衛生的な職場環境をつくりやすいためだ。県内の複数の障害者就労支援施設が導入したほか、県内の装置メーカーには県内外から問い合わせが寄せられている。

障害者施設が導入



LEDを使った水耕栽培

負担軽く衛生的

知的障害者を受け入れる「ワークショップくんえい」(吉岡町)は、6月下旬にLEDの水耕栽培を導入した。利用者の過半数が中高年で「体力や特性に合った仕事になる」と判断したからだ。

約10年前に園芸事業を始めたが、土を触るのが苦手な利用者が少なくなく、や

めざるを得なかった。五十嵐寛施設長は、土を使わずに付加価値の高い野菜を栽培できる点に魅力を感じるという。「先端技術を取り入れて、高い工賃とやりがいを得られる事業を提供したい」と意気込む。

水耕栽培装置の製造を手掛ける成電工業(高崎市)には、県内外の社会福祉法

人から問い合わせが寄せられるという。滝沢啓社長は障害者就労に活用できると考え、NPO法人ソーシャルハウスを設立し、昨年6月に利用者の受け入れを始めた。

レタスやベビーリーフを栽培し、市内のホテルなどに出荷している。利用者は屋内で椅子に座りながら作業しており、滝沢社長は「身体的な負担を軽減でき、衛生面も配慮できる」と話している。

がん制圧へ 決意のリレー

前橋でスタート

がん患者や家族、支援者が一丸となってがん制圧を呼び掛けるチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016ぐんま」(同実行委員会、日本対がん協会主催)が8日、前橋市の県総合スポーツセンターふれあいグラウンドで始まった。24時間交代で歩き続ける「リレーウォーク」などに患者ら約6千人が参加する。9日まで。開会式で大島主好実行委



テ、太田

情報通信フィス以外レワークへ

ヒマノ

疾走す矢を放つ8日、みどりヒマワリ畑真。狩装束手が的を射から拍手、威勢のトに馬場を賑の的を狙野市から目おるさん(が出ていてのどかな中ちしていた笠懸の寺始まり、同とされてい